

V. 一般演題 ポスター発表

Track 8

PC-01 ~ 16 : 16:30-17:30

- PC-01 *cis*型アゾベンゼンを含むキラル大環状化合物の合成と異性化反応の検討
○芝内涼太¹、田中智博¹、青木伸^{1,2} (¹東京理大・薬、²東京理大総合研究院)
- PC-02 芳香族メチルエーテルを部分構造に含む天然有機化合物の合成研究
○本田桂子、横山芹香、橋本理一、安井将満、東林修平、花屋賢悟、須貝威
(慶應大・薬)
- PC-03 情報科学及び機械工学と連携した抗SARS-CoV-2治療薬の設計及び合成
○内山遥¹、田中智博¹、大橋啓史^{2,3}、塩野谷果歩^{2,3}、渡士幸一^{2,3}、倉持幸司²、
秋本康平²、竹村裕²、岡本実佳⁴、外山政明⁴、馬場昌範⁴、青木伸^{1,5} (¹東京理大・薬、
²東京理大・理工、³国立感染研、⁴鹿児島大・ヒトレトロウイルス学共同研究セ、
⁵東京理大・総研)
- PC-04 メタロ- β -ラクタマーゼ阻害活性を有する化合物の設計と合成ならびに活性評価
○加茂大知¹、米田友貴²、額賀路嘉³、西田紀貴¹、星野忠次¹ (¹千葉大院薬、
²北大院工、³城西国際大薬)
- PC-05 アセタール構造を有する新規ER α アンタゴニストの創製
○湯山円晴¹、三澤隆史²、出水庸介²、金谷貴行¹、佐藤忠章¹、栗原正明^{2,3}
(¹国際医福大薬、²国立衛研、³湘南医療大薬)
- PC-06 剛直な置換基を有するポルフィリン誘導体のがん細胞集積性の評価
○新内綾乃¹、東條敏史¹、近藤剛史^{1,2}、湯浅真^{1,2} (東理大・理工¹、東理大総研²)
- PC-07 親水性基がポルフィリンのがん細胞集積性に与える影響の評価
○倉橋駆¹、東條敏史^{1,2}、近藤剛史²、湯浅真² (¹東理大・理工、²東理大総研)
- PC-08 カチオン性環状ペプチドを導入したイリジウム(III)錯体-ペプチドハイブリッド
の設計・合成と生物活性評価
○小山田有沙¹、横井健汰¹、吉村弥生¹、青木伸^{1,2} (¹東京理大・薬、²東京理大総研)
- PC-09 インフルエンザRNAポリメラーゼを阻害する新規化合物の探索
○大林ひかり¹、加茂大知¹、山本典生²、西田紀貴¹、星野忠次¹ (¹千葉大院薬、
²東海大医)
- PC-10 ユリ科 *Allium* 'Globemaster' 鱗茎から単離されたステロイドサポニンの構造と
腫瘍細胞毒性
○井口巴樹、高橋由菜、三卷祥浩 (東京薬大・薬)
- PC-11 抗菌活性を指標とした微生物由来生物活性天然物の探索
○原康雅、千葉まれの、石橋正己 (千葉大院薬)
- PC-12 ヒノキ科 *Thujopsis dolabrata* 葉の化学成分とアポトーシス誘導活性
○横川詳平、横須賀章人、三卷祥浩 (東京薬大・薬)

- PC-13 ニンニクのシステインスルホキシド化合物群の生合成におけるグリシル基脱離酵素の同定と機能解析
○小早川奈央¹、浅野雅代¹、大岩優海菜¹、鈴木秀幸²、松友利暁³、中本雅斗³、
齊藤和季¹、山崎真巳¹、吉本尚子¹ (¹千葉大院・薬、²かずさDNA研、³湧永製薬)
- PC-14 ω -3脂肪酸及び ω -3脂肪酸由来の代謝物のがん細胞増殖抑制能の検討
○鶴岡美希¹、東條敏史²、近藤剛史^{1,2}、湯浅真^{1,2} (¹東理大・理工、²東理大・総研)
- PC-15 ユリ科植物の化学成分(92) オウゴンオニユリ *Lilium lancifolium* var. *flaviflorum* の化学成分について(1)
○山寺祐輔、松尾侑希子、三宅克典、三卷祥浩 (東京薬科大学・薬)
- PC-16 関節リウマチ滑膜細胞の細胞死誘導作用を有する天然物の探索
○松岡優輝¹、山崎秀太¹、原康雅^{1,2}、小谷野喬³、石橋正己^{1,2} (¹千葉大院薬、
²千葉大学植物分子科学研究センター、³テムコ)

Track 1

PC-17 ~ 33 : 17:30 - 18:30

- PC-17 ガイヨウの化学成分について
○大澤志拓、三卷祥浩、横須賀章人 (東京薬大・薬)
- PC-18 チャボイナモリのカンプトテシン生合成遺伝子クラスターに存在するトランスポーター遺伝子のノックアウト毛状根の作製
○二反田望実、Amit Rai、齊藤和季、山崎真巳 (千葉大院・薬)
- PC-19 乳酸菌生産物質が高脂肪食給餌ヘアレスマウスに与える影響
○玉根強志^{1,2}、徳留嘉寛¹ (¹城西大薬、²光英科学研究所)
- PC-20 ニンニクのシステインスルホキシド化合物群の生合成に関わる酵素と共発現するグルタチオン-S-転移酵素の機能解析
○高橋あおい¹、石井梨紗子¹、鈴木秀幸²、松友利暁³、中本雅斗³、齊藤和季¹、
山崎真巳¹、吉本尚子¹ (¹千葉大院・薬、²かずさDNA研、³湧永製薬)
- PC-21 分子ネットワークを用いたシアノバクテリア由来の新規化合物の単離
○小川慧人¹、植草義徳¹、木内文之¹、William H. Gerwick²、菊地晴久¹ (¹慶應大薬、
²SIO/UCSD)
- PC-22 ヨウ素を酸化剤とする炭素一窒素結合形成反応を利用したトリプトファン化学修飾法の開拓
○渡邊俊佑、東林修平、須貝威、花屋賢悟 (慶大院薬)
- PC-23 ボロン酸触媒を用いた糖質の位置選択的Koenigs-Knorr型グリコシル化反応の開発
○高橋那央也、杉本智也、嶋田修之、牧野一石 (北里大・薬)
- PC-24 合成後期多様化法を目指した β_2 刺激薬ファーマコフォアに対するC(sp²)-Hアリアル化の検討
○重松花梨、関真由子、三浦基文、本橋重康、鳥山正晴 (日本大・薬)
- PC-25 ブテノリドラジカルを用いた反応開発研究と天然物合成への応用
○勅使川原壮平¹、山口菜里絵²、長光亨¹、大多和正樹¹ (¹北里大院・薬、²北里大・薬)

- PC-26 ドナー・アクセプター型基質を用いるインドール縮環型七員環及び八員環構築法の開発
○岡部朗人¹、竹田拓矢¹、西田篤司¹、原田真至^{1,2} (¹千葉大院薬、²千葉大MCRC)
- PC-27 四置換炭素を含むヒドロカルバゾール骨格の触媒的不斉合成法の開発
○稲葉万里彩¹、關野詩穂里²、荒井秀^{2,3}、原田真至^{2,3} (¹千葉大薬、²千葉大院薬、³千葉大MCRC)
- PC-28 ジボロン酸無水物触媒を用いたジケトピペラジンの簡便合成法の開発
○篠田開人、腰塚正佳、嶋田修之、牧野一石 (北里大・薬)
- PC-29 イオン液体中金触媒による*trans*-2,3-ジヒドロベンゾフラン類の合成
○森田延嘉、荒木龍杜、田中耕作三世、橋本善光、田村修 (昭和薬大)
- PC-30 1,3-双極子環化付加反応を用いた8-オキサ-2-アザビシクロ[3.2.1]オクタン骨格の構築
○樋口和宏、松林喜樹、櫻井琢磨、伊藤元気、杉山重夫 (明治薬大・薬)
- PC-31 チオシアン酸塩を硫黄源とするホスフィンスルフィドの新規合成法開発
○末木俊輔^{1,2}、中村実里¹、町田直之¹、渡辺あづみ¹、穴田仁洋^{1,2} (¹武蔵野大・薬、²武蔵野大・薬学研究所)
- PC-32 光酸化還元反応を用いる α , β -不飽和カルボン酸への直截的1,4-付加およびアクリジン類縁体の触媒能の評価
○梅沢岬、平濱俊哉、庄司満 (横浜薬科大学)
- PC-33 エノンを用いたヒドロカルバゾロン類の短工程合成
○広瀬峻平、柳川麻衣、原田慎吾、根本哲宏 (千葉大院薬)

Track 9

PP-01 ~ 20 : 16:30 – 17:30

- PP-01 ヒドロキソコバラミンによる速度論解析を用いた抗酸化物質の系統分類
○鈴木有美香、小林拳志郎、大塚裕太、後藤了 (東京理大・薬)
- PP-02 フラグメント分子軌道法を用いた β -シクロデキストリンとノルエフェドリンとの相互作用検討
○奈良友里衣¹、大橋玲子¹、伊野希¹、古石誉之¹、福澤薫¹、遠藤朋宏²、米持悦生¹ (¹星薬大、²東京薬大薬)
- PP-03 動的FMO解析を用いたエストロゲン受容体-リガンド結合特性の評価
○鈴木美波¹、小宮愛里沙¹、山崎優輝¹、上村舞¹、半田佑磨¹、奥脇弘次²、古石誉之¹、福澤薫¹、米持悦生¹ (¹星薬大・薬、²立教大・理)
- PP-04 FMO法によるCOMTと阻害剤の相互作用におけるニトロ基の寄与の評価
○白井智子¹、山本亜美¹、古石誉之¹、米持悦生¹、武部克希²、飯島洋³、福澤薫¹ (¹星薬大・薬、²大阪大・歯、³日本大・薬)
- PP-05 ABTS法により求めた抗酸化力とDFT計算の相関から見出されたALS治療薬エダラボンのラジカル反応の特徴
○後藤佑彰、高塚美和、大塚裕太、後藤了 (東京理大薬)

- PP-06 **フラグメント分子軌道法によるGPCRと脂質二重膜の相互作用解析**
○今廣太郎¹、半田佑磨¹、奥脇弘次^{1,2}、古石誉之¹、福澤薫¹、米持悦生¹ (¹星薬大・薬、²立教大・理)
- PP-07 **SARS-CoV-2 RdRpとレムデシビルの動的相互解析**
○宮川柊兵¹、奥脇弘次²、川嶋裕介¹、古石誉之¹、米持悦生¹、加藤幸一郎³、福澤薫¹
(¹星薬大、²立教大・理、³九大院工)
- PP-08 **Analysis of the Electrostatic Potentials to Identify Suitable Protein Crystallization Conditions**
○郭艶、瞿良、西田紀貴、星野忠次 (千葉大院・薬)
- PP-09 **創薬スクリーニングの標的となる Ras変異体の探索**
○前嶋乃理絵¹、趙慶慈²、芳賀涼花¹、星野忠次²、西田紀貴² (¹千葉大薬、²千葉大院薬)
- PP-10 **低波数ラマンプロブによる非晶質固体分散体に適したポリマーの評価**
○饗庭成美、大高幸輝、井上元基、深水啓朗 (明治薬大)
- PP-11 **カルバマゼピンとメトクロプラミド併用時の副反応における物理化学的相互作用の影響**
○砂田佐恵、大塚裕太、後藤了 (東京理大薬)
- PP-12 **膜安定性を変化させる薬物が抗酸化物質によるliposomeでの脂質過酸化の抑制に対して与える影響**
○堀住祐介、高塚美和、大塚裕太、後藤了 (東京理大薬)
- PP-13 **レシチンオルガノゲルの粘性が経鼻デバイスからの射出性に及ぼす影響**
○黒田昂汰、鈴木直人、立石傳、橋崎要、鈴木豊史 (日本大・薬)
- PP-14 **内在性Trp蛍光によるケトプロフェン添加アルブミンの構造変化の検討**
○鶴島みのり、大塚裕太、後藤了 (東京理大薬)
- PP-15 **ポリロタキサンをを用いたインドメタシンとシクロデキストリン環との相互作用の検討**
○櫛梨紗、平井絢子、弘重諒介、清水翔太、島田洋輔、大塚裕太、後藤了、牧野宏章、高橋秀依 (東京理大薬)
- PP-16 **化粧品への応用を目的としたリポソーム製剤の開発と機能性評価**
○大山純子、寺内麻緒莉、山田創太、金澤秀子、長瀬健一 (慶應大・薬)
- PP-17 **BCG投与による結核性肉芽腫モデルマウスの作製および評価**
○滝沢駿介、竹内一成、牧野公子 (東京理科大学 薬学研究科)
- PP-18 **pH応答性脂質ナノ粒子における脂質膜流動性の変化**
○南雲大暉、小坂橋京華、中尾瑞佳、町田朋子、加藤くみ子 (北里大・薬)
- PP-19 **乾癬治療を目的としたPLGA-PEG-PLGAトリブロックコポリマーを用いたタクロリムス含有ナノ粒子の開発**
○星野友希、竹内一成、牧野公子 (東京理大・薬)
- PP-20 **新規肺がん治療薬の開発のためのclaudin-2の発現系の構築と調製**
○清原治樹¹、五十里彰²、横山英志¹ (¹東京理大・薬、²岐阜薬大・薬)

Track 2

PP-21 ~ 39 : 17:30 - 18:30

- PP-21 Fatty acid binding protein-4標的PETプローブの開発に向けた新規フッ化アリール結合triazolopyrimidine誘導体の合成
○尾江悟¹、田中裕之¹、佐藤隆浩¹、水野雄貴¹、宿里充穂¹、近藤直哉²、天満敬²、秋澤宏行（¹昭和薬大・薬、²大阪医薬大・薬）
- PP-22 ヘパリンリアーゼ組み換えタンパク質の精製と基質特異性の解析
○田中健太郎¹、西村和洋²、星野忠次³、西田紀貴³、戸井田敏彦⁴（¹千葉大薬、²国際医福大薬、³千葉大院薬、⁴千葉大予防医学センター）
- PP-23 多発性骨髄腫治療の標的であるSLAMF7とその抗体の複合体調製
○前島和貴、河西晨太、横山英志、（東京理大・薬）
- PP-24 安定な粉末化を企図としたビタミンE共結晶の効率的な調製法
○高橋美里、荒居玖志、高山智生、井上元基、深水啓朗（明治薬大）
- PP-25 クルクミン共結晶のナノ粉碎に及ぼすポリマーの影響
○島田尚輝、岩浦敏久、井上元基、深水啓朗（明治薬大）
- PP-26 難水溶性薬物のコアモルファス探索及び物性評価
○笠原礼央、高山智生、荒居玖志、井上元基、深水啓朗（明治薬大）
- PP-27 ロキソプロフェンナトリウム含有貼付剤の製剤学的特性
○常泉乃愛、櫛田恵理子、原口七海、藤井美佳、深水啓朗（明治薬大・薬）
- PP-28 ロキソプロフェンNaの分子状態が貼付剤の製剤特性に及ぼす影響
○原口七海¹、櫛田恵理子¹、後藤裕¹、岡本憲明²、浦松俊治²、藤井美佳¹、深水啓朗¹（¹明治薬大、²大同化成工業）
- PP-29 難溶性薬物であるインドメタシン結晶多形の相転移エントロピー
○長谷川寛治、櫛梨紗、大塚裕太、後藤了（東京理大薬）
- PP-30 ファモチジン存在下におけるジクロフェナクの溶解性に対するシクロデキストリン複合体形成の影響
○角田千祐、大塚裕太、後藤了（東京理大薬）
- PP-31 ラマン分光法を用いたリポソーム調製工程の*in situ*モニタリング
○佐藤匠¹、羽石一輝¹、小出達夫²、井上元基¹、深水啓朗¹（¹明治薬大、²国立衛研）
- PP-32 ボルタモグラム測定による北五味子と南五味子の鑑別法の開発
○小林綾花、小谷明、町田晃一、山本法央、袴田秀樹（東京薬大薬）
- PP-33 構造類似性蛍光物質を用いたORAC法のフルオレセインの反応性とALS治療薬エダラボンに固有の特徴の評価
○高塚美和、小林拳志郎、島田洋輔、大塚裕太、後藤了（東京理大薬）
- PP-34 プラスチックシンチレータによるオージェ電子放出核種の測定
○植田直樹、森田裕子（慶應大・薬）
- PP-35 Sodium zirconium cyclosilicate hydrateによるCs-137除去効果の検討
○佐藤風花、森田裕子（慶應大・薬）
- PP-36 尿中 cfDNA の高効率な精製法の開発
○小倉唯奈、加藤大（昭和大・薬）

- PP-37 ラベルフリー細胞分離を実現する温度応答性細胞分離カラムの開発
○岡田明莉、枝常吾郎、山田創太、金澤秀子、長瀬健一（慶應大・薬）
- PP-38 温度応答性クロマトグラフィーによる簡便な血中薬物濃度測定法の開発
○高木光、西山輝乃、金澤秀子、長瀬健一（慶應大・薬）
- PP-39 温度応答性高分子とイオン性高分子を用いたミックスモードカラム作製
○松本光祐、渡邊真梨亜、金澤秀子、長瀬健一（慶應大・薬）

Track 10

PB-01 ~ 23 : 16:30-17:30

- PB-01 SARS-CoV-2 スパイクタンパク質のS2領域を認識する中和抗体の探索
○井上徹哉¹、山本雄一朗¹、村江真奈^{1,2}、深澤征義²、金子美華³、加藤幸成³、野口耕司¹
(¹東京理科大・薬、²国立感染研・細胞化学、³東北大・医)
- PB-02 インフルエンザウイルス感染における細胞表層へパラン硫酸の関与
○伊藤祐乃¹、御子神拓樹¹、阿部史弥¹、渡辺マコ¹、高橋勝彦¹、奥輝明¹、山本典生²、
勝本祥央³、東恭平³、東伸昭¹ (¹星薬大、²東海大医、³東京理科大)
- PB-03 新型コロナウイルス侵入阻害剤の簡便なスクリーニング系構築
○村江真奈^{1,2}、清水芳実^{2,3}、入江拓也^{2,4}、玄葉隆太郎^{2,5}、野口耕司^{1,2}、深澤征義²
(¹東京理大院・薬、²国立感染研・細胞化学、³帝京平成大・薬、⁴東京理大・薬、⁵東京理大・理)
- PB-04 マスト細胞が前駆体へパラナーゼを優先的に取り込む機構の解析
○谷田部真衣¹、川並史也¹、宮川尚子¹、岩崎文香¹、津田晴菜¹、高橋勝彦¹、安達勇光²、
西村吉雄²、中島元夫³、入村達郎⁴、東伸昭¹ (¹星薬大、²微化研、³SBIファーマ、⁴順天堂大)
- PB-05 B群溶血性レンサ球菌におけるBiofilm産生能と関連因子の解析
○前田貴広¹、福島康仁¹、吉田春乃^{1,2}、後藤美江子²、藤田朋浩³、露木勇三^{2,4}、高橋孝^{1,2}
(¹北里大院・感染制御、²北里大・大村研、³北里大・メディカルセンター 臨床検査科、
⁴サンリツセルコバ検査センター 臨床検査部)
- PB-06 制御性T細胞の炎症巣浸潤におけるシアリルルイスX糖鎖の寄与検討
○石倉晨規、西田匠吾、込山大智、大石かなえ、安保博仁、川島博人（千葉大院薬）
- PB-07 濾胞ヘルパー T細胞(Tfh)の機能解析を可能とする新規遺伝子改変マウスの解析
○安藝龍志、田井優貴、坂井田雄貴、原田陽介（東京理科大・薬）
- PB-08 Foxp3 Bcl6ダブルノックアウトマウスにおける皮膚炎発症機序の解明
○峯野真緒、田井優貴、坂井田雄貴、原田陽介（東京理科大・薬）
- PB-09 AMPK活性剤AICARによるジクロフェナク誘発性腎傷害抑制機序
○納谷裕子、畑望美、本間瑞樹、木村統真、小山雄一、荻原喜久美
(麻布大・生命環境)
- PB-10 ノビレチンによる神経炎症の抑制機構の解析
○石和翔、村田大典、中澤洋介、多胡めぐみ（慶應大・薬）
- PB-11 食物アレルゲンの架橋活性に及ぼすマイクロプラスチックの影響
○栗坂知里¹、中村梨乃¹、中村亮介²、秋山晴代¹ (¹帝京平成大・薬、²国立衛研)

- PB-12 アレルギー性喘息におけるWdfy4の機能解明
○三浦寧音、村上祐輔、石井崇、成田知也、山下直美（武蔵野大・薬）
- PB-13 上衣腫原因融合タンパク質ZFTA-RELA^{FUS2}の核輸送機構
○小島瑠莉、石井雅樹、堅田利明、大畑慎也（武蔵野大・薬）
- PB-14 Jak阻害剤のCerdulatinibがグルコシルセラミド合成酵素に与える影響
○松倉恭介、元吉海星、本田拓也、中村浩之（千葉大院薬 薬効薬理学）
- PB-15 ヘパラーゼによる結腸癌細胞遊走能変化
○重田奈緒¹、史佳¹、高橋勝彦¹、中島元夫²、入村達郎³、東伸昭¹（¹星薬大、²SBIファーマ、³順天堂大医）
- PB-16 結腸癌細胞株が形成するスフェロイドからの突起伸長とヘパラーゼの酵素活性
○丹生慧¹、小原凜弥¹、彼ノ矢陸¹、梅田尊弘¹、高橋勝彦¹、安達勇光²、西村吉雄²、中島元夫³、入村達郎⁴、東伸昭¹（¹星薬大、²微化研、³SBIファーマ、⁴順天堂大医）
- PB-17 Glyoxalase I阻害化合物Licochalcone Bの培養がん細胞への効果の検討
○宮崎夏希、高橋実央、高澤涼子（東京理大・薬）
- PB-18 5-Fluorouracil耐性ヒト大腸がん細胞における薬剤排出トランスポーターの関与について
○西澤菜々¹、倉坂知夏¹、萩野暢子^{1,2}、佐藤聡¹（¹東京理大・薬・生化学、²東京理大・薬・遺伝子制御学）
- PB-19 がん治療時に発生する口内炎を模倣した疾病モデルラットの作製およびGGsTop[®]による治療効果の評価
○岩田華苗、竹内一成、牧野公子（東京理科大・薬）
- PB-20 ヒト血清アルブミン融合ヒトラクトフェリンのがん細胞に対する細胞毒性
○吉川美佳、栗本大輔、笠間諒也、佐藤淳（東京工科大学大学院 バイオニクス専攻）
- PB-21 ヒト血清アルブミン融合ヒトラクトフェリン(hLF-HSA)のヒト肺腺ガンPC-9細胞における取り込みと増殖阻害
○トルンディンハウエーアン、栗本大輔、笠間諒也、佐藤淳（東京工科大学 大学院・バイオニクス専攻）
- PB-22 HepG2細胞のインスリン応答に対するWRN遺伝子ノックダウンの影響
○山崎聖奈、松坂憲樹、東祐太郎、津山崇、多田周右（東邦大・薬）
- PB-23 熱ストレス下における熱耐性卵巣癌細胞の代謝シフトの解明
○金森大誠、宮崎菜摘、青木重樹、伊藤晃成、樋坂章博、畠山浩人（千葉大・薬）

Track 3

PB-24 ~ 46 : 17:30 - 18:30

- PB-24 非小細胞肺がん細胞における分子標的薬に対する薬剤寛容機構の検討
○大島太一、古市健多、青木春菜、宮崎菜摘、伊藤晃成、青木重樹（千葉大院・薬）
- PB-25 硫酸化糖鎖による結腸癌細胞の増殖抑制効果：NF- κ Bシグナル伝達経路の関与
○史佳¹、福村修示¹、石川壮大¹、高橋勝彦¹、中島元夫²、入村達郎³、東伸昭¹（¹星薬大、²SBIファーマ、³順天堂大医）

- PB-26 **変異Rasによるミトコンドリア電子伝達系複合体IVタンパク質を介した細胞増殖亢進機構の解析**
○川島志織¹、高倉勇氣²、町田萌香¹、堀直人¹、荒木拓郎¹、寺田菜摘¹、高野博之¹、山口憲孝^{1,2} (¹千葉大院薬・分子心血管薬理学、²千葉大院薬・分子細胞生物学)
- PB-27 **がん細胞におけるIL-1 α の機能解析**
○梶山瞭ダニエル、堀直人、高野博之、山口憲孝 (千葉大院薬・分子心血管薬理学)
- PB-28 **慢性骨髄性白血病細胞におけるSTAT5A/STAT5Bの機能解析**
○武田健吾¹、初田航一¹、鷺見和也¹、多胡憲治²、上田史仁¹、多胡めぐみ¹ (¹慶應大・薬、²自治医大・医)
- PB-29 **加齢・性差に伴う心機能の評価**
○金恵理¹、高野博之¹、真鍋一郎² (¹千葉大院・薬、²千葉大院・医)
- PB-30 **脂肪細胞分化におけるVgl13の機能解明**
○石川千夏、荒木拓郎、高野博之、山口憲孝 (千葉大院薬・分子心血管薬理学)
- PB-31 **高脂肪食過食によるゼブラフィッシュ耐糖能異常モデルの作製と病態誘導遺伝子探索**
○石井謙介¹、梶原理希¹、小西尚子²、殿城亜矢子¹、溝口貴正¹、伊藤素行¹ (¹千葉大院・薬、²千葉大・薬)
- PB-32 **高脂肪食摂取モデルの代謝変化が記憶に及ぼす影響と遺伝子発現解析**
○小貫ことみ¹、岳桐¹、柳原碧²、伊藤素行¹、殿城亜矢子¹ (¹千葉大院・薬、²千葉大・薬)
- PB-33 **ネクロシスとアポトーシスの細胞死切替え機構の解明：RNA polymerase阻害による細胞死切替えの検討**
○三好哲也¹、舟山直輝¹、松田彰²、綿矢有佑³、金恵淑³、佐藤聡¹ (¹東京理大・薬・生化学、²北大院・薬・創薬科学研セ、³岡山大・薬・国際感染症制御学)
- PB-34 **アポトーシス誘発によるLAMP-1,2の細胞表面への移行とその役割**
○日下部結菜¹、市坪有紗²、東祐太郎¹、津山崇¹、永田喜三郎²、多田周右¹ (¹東邦大・薬、²東邦大・理)
- PB-35 **高濃度グルコースによるHSP90のO-GlcNAc修飾とアポトーシスへの関与**
○上迫美月、大貫舞里絵、東祐太郎、津山崇、多田周右 (東邦大・薬)
- PB-36 **ヘパラーゼが細胞外小胞産生に与える影響**
○山本陽香¹、浜田真美加¹、高橋勝彦¹、小林恒雄¹、秋元義弘²、中島元夫³、入村達郎⁴、東伸昭¹ (¹星薬大、²杏林大医、³SBIファーマ、⁴順天堂大・医)
- PB-37 **硫酸化糖鎖が持つヘパラーゼ阻害作用の検討**
○渡邊建介¹、前田理乃¹、谷祐里菜¹、石川壮大¹、高橋勝彦¹、東恭平²、戸井田敏彦³、中島元夫⁴、入村達郎⁵、東伸昭¹ (¹星薬大、²東京理科大、³千葉大薬、⁴SBIファーマ、⁵順天堂大)
- PB-38 **ヒトヘパラーゼにおける His296 の重要性の解明**
○馬場遼也、山本亜美、福澤薫、高橋勝彦、東伸昭 (星薬大)
- PB-39 **コンドロイチン硫酸Eユニット(CS-E)特異的認識ペプチドの創製と結合解析**
○薬袋貴也、平井裕汰、佐藤淳 (東京工科大学大学院 バイオニクス専攻)

- PB-40 薬物性肝障害での骨髄由来細胞におけるミトコンドリア透過性遷移の関与
○池山佑豪、竹村晃典、伊藤晃成（千葉大院薬）
- PB-41 I型糖尿病マウスの膵臓β細胞におけるオートファジーの傷害抑制効果
○田村慶介、末永梢、南條梢、鈴木悠平、三栗野遥花、納谷裕子、小山雄一、萩原喜久美（麻布大 生命・環境科学部 臨床検査技術学科）
- PB-42 *UBIAD1*の転写調節を介したHMGCRの小胞体関連分解に関する研究
○清野航¹、佐野翔²、鎌尾まや³、須原義智^{1,2}、廣田佳久^{1,2}（¹芝浦工大・生命科学、²芝浦工大院・生命創薬、³神戸薬大・薬）
- PB-43 ヒト*DNMT1*と*DNMT3B*遺伝子発現調節メカニズムの解明
○石井琢朗、大谷竜司、萩野暢子、内海文彰（東京理科大・薬・遺伝子制御学）
- PB-44 磁気ビーズを用いたビタミンK側鎖切断酵素の網羅的探索
○村田昂平¹、小林正知²、鎌尾まや³、須原義智¹、廣田佳久¹（¹芝浦工大・生命科学、²芝浦工大院・生命創薬、³神戸薬大・薬）
- PB-45 GGCX活性上昇を目指したビタミンK誘導体による神経分化能の評価
○呉雨馨¹、古川奈津子²、鈴木章平¹、新井佑²、須原義智^{1,2}、廣田佳久^{1,2}
（¹芝浦工大・生命科学、²芝浦工大院・生命創薬）
- PB-46 画像と機械学習を用いたタンパク質の結合予測
○島田一秀、星野忠次（千葉大院薬）

Track 8

PM-01 ~ 08 : 16:30 - 17:30

- PM-01 *DYNC2LI1*遺伝子発現調節のオートファジーにおける役割解析
○森雅弘、翁長朝太郎、氏田秀星、多森翔馬、秋本和憲（東京理科大・薬）
- PM-02 LPS誘導性肺損傷におけるシアリルルイスX糖鎖の機能解明
○Liu Wenxin、熊偉、安保博仁、川島博人（千葉大院・薬）
- PM-03 拘束ストレスにより誘発される痛覚過敏および不安様行動に対するalfaxaloneの影響
○鶴飼サキ¹、黒田純平¹、山内つぐみ¹、山田大輔¹、斎藤顕宜¹、入山聖史²、西野彰一³、宮崎智¹、吉澤一巳（¹東理大・薬、²東理大・理工、³株フジミック）
- PM-04 機械学習による化合物の心臓毒性予測モデルの開発
○石原和彬、内田隆裕、手束幸丞、住野彰英、曾根秀子、速水耕介
（横浜薬大・薬）
- PM-05 癌ゲノミクスデータを用いた*SLC20A1*遺伝子の膵臓癌における役割解明
○松岡泉¹、翁長朝太郎¹、多森翔馬¹、佐藤圭子²、佐々木和教³、大野茂男³、秋本和憲¹
（¹東京理大・薬、²東京理大・理工、³順天堂大・老人性疾患病態治療セ）
- PM-06 がんゲノミクスデータ解析によるProtein Kinase C zeta (PKCζ) の乳がん幹細胞における役割の解明
○長島佑夏¹、多森翔馬¹、本村瞳¹、尾崎綾葉¹、翁長朝太郎¹、佐々木和教²、大野茂男²、秋本和憲¹（¹東京理大・薬、²順天堂大・老人性疾患病態治療セ）

- PM-07 担がんモデルマウスに対するカフェインの抗腫瘍・抗疲労作用の検証
○原田葵¹、増田えみ¹、石嶋恵理佳¹、鈴木秀隆²、吉澤一巳¹ (¹東京理大・薬、²国立がん研究センター東病院薬)
- PM-08 3Dヒト鼻腔モデルによるアレルギー性鼻炎用点鼻薬の鼻腔内滞留性
○垣辻未来、鈴木直人、鈴木豊史 (日本大・薬)

Track 1

PM-09 ~ 17:17:30-18:30

- PM-09 酸化マグネシウム錠の吸湿による品質変化～熱重量分析法を用いた評価～
○鈴木佳菜子¹、深水啓朗²、小出達夫³、山本佳久¹ (¹帝平大薬、²明治薬大、³国立衛研)
- PM-10 シームレスカプセルを用いた小児用製剤の苦味マスキング
○小達萌未、田中咲妃、深水啓朗 (明治薬大)
- PM-11 近赤外分光法を用いた小児用ドライシロップ製剤の吸湿性に関する研究
○晒名日菜子¹、深水啓朗²、小出達夫³、山本佳久¹ (¹帝平大薬、²明治薬大、³国立衛研)
- PM-12 クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏と保湿クリームとの混合物安定性
○波田美咲¹、深水啓朗²、山本佳久¹ (¹帝平大薬、²明治薬大)
- PM-13 調剤薬局で調製される3成分混合シロップ剤の保存安定性
○山田文恵、鈴木直人、山本あかり、鈴木豊史 (日本大・薬)
- PM-14 骨肉腫患者を対象としたメトトレキサート大量療法における肝機能障害発現因子の検討
○石津拓¹、阿部健太郎^{1,2}、前田絢子¹、橋本浩伸²、山口正和²、古川哲也³、真野泰成¹
(¹東京理大薬、²がん研セ中央病院薬、³がん研有明病院薬)
- PM-15 有害事象データベースを活用したペランパネルの使用による自殺関連有害事象発生調査
○伊禮輔¹、柴田侑裕²、佐藤洋美¹、樋坂章博¹ (¹千葉大院薬、²名市大院薬)
- PM-16 多数の母集団薬物動態解析結果に基づく加齢による肝クリアランス変化の評価
○副島呉竹、佐藤洋美、樋坂章博 (千葉大院薬)
- PM-17 漢方薬と抗菌薬の併用実態調査
○林美穂¹、嶋田沙織¹、関健吾¹、隅田萌¹、本間真人^{1,2} (¹筑波大病院薬、²筑波大医学医療系)

Track 11

PM-18 ~ 36:16:30-17:30

- PM-18 小学生に対する医薬品適正使用啓発の授業実施前後における意識の調査
○板橋皓海、櫻田大也、小林江梨子、佐藤信範 (千葉大院薬)
- PM-19 薬局医療従事者のCOVID-19に対する知識及び行動調査
○塩屋理美¹、金丸優介¹、小林江梨子¹、朝賀純一²、工藤賢三²、佐藤信範¹
(¹千葉大院薬、²岩手医大薬)

- PM-20 部分肝切除ラットにおけるERKおよびAktリン酸化活性に対するS-allyl-L-cysteineの促進効果の検討
○石井貴久、赤木友香、栗原一樹、茂木肇、荻原政彦、木村光利（城西大・薬）
- PM-21 セラミドキナーゼによる記憶形成制御機構の解明
○風間皓大、穴田幸平、本田拓也、村山俊彦、中村浩之（千葉大院薬）
- PM-22 緑内障モデルマウスにおける網膜神経節細胞死に対するゾニサミドの保護作用
○井上慶貴、住野彰英、曾根秀子、速水耕介（横浜薬大・薬）
- PM-23 抗精神病薬fluphenazineによる心室再分極遅延作用の評価～ Isoflurane麻酔モルモットを用いた検討～
○篠崎達朗、永澤悦伸、相本恵美、高原章（東邦大・薬・薬物治療学）
- PM-24 心室再分極異常を伴う有害事象が報告された12種の抗ヒスタミン薬の非臨床in vivo研究を通じたQT延長リスクの検証
○松崎陽香¹、永澤悦伸¹、小林加寿子^{1,2}、相本恵美¹、高原章¹
（¹東邦大・薬・薬物治療学、²東邦大医療セ・大橋・薬剤部）
- PM-25 モルモット気管・気管支平滑筋の収縮反応に対するNP-1815-PXの影響
○稲葉理花子、川北美礼、吉岡健人、小原圭将、田中芳夫（東邦大・薬）
- PM-26 成熟ラット初代培養肝実質細胞に対するN-acetyl-S-phenyl-L-cysteineの細胞増殖促進作用機構の検討
○浅田健一、石垣太基、栗原一樹、茂木肇、荻原政彦、木村光利（城西大・薬）
- PM-27 プロスタノイドTP受容体の刺激はCa²⁺チャネルの活性化を介してモルモット膀胱平滑筋の収縮活動を増強する
○欧光瀚、藤澤実樹、矢代彩乃、徐可悦、吉岡健人、小原圭将、田中芳夫（東邦大・薬）
- PM-28 アゾール系抗真菌薬によるCYP時間依存的阻害の薬物相互作用リスクのin vitroカクテル法による系統的検出
○橋本なつみ¹、爲本雄太¹、柴田侑裕^{1,2}、吉友葵¹、佐藤洋美¹、樋坂章博¹
（¹千葉大院・薬、²名市大院・薬）
- PM-29 止瀉薬loperamideによる心室再分極遅延作用に μ 受容体は関与しない
○関翔太¹、永澤悦伸¹、小林加寿子^{1,2}、相本恵美¹、高原章¹
（¹東邦大・薬・薬物治療学、²東邦大医療セ・大橋・薬剤部）
- PM-30 高血圧発症早期における心房の電気生理学的特性～ L-NAME誘発高血圧ラットを用いた検討～
○伊藤愛、相本恵美、永澤悦伸、高原章（東邦大・薬・薬物治療学）
- PM-31 ミクログリア細胞株MG6におけるリポ多糖誘発NO産生に対する3',4',7-trihydroxyflavoneの抑制効果
○赤石樹泰、山本昇平、阿部和穂（武蔵野大・薬）
- PM-32 成熟ラット初代培養肝実質細胞に対するS-phenyl-L-cysteineの細胞増殖促進作用機構の検討
○伊藤元気、江口佑太、栗原一樹、茂木肇、荻原政彦、木村光利（城西大・薬）

- PM-33 モルモット胃底平滑筋のプロスタノイド類による収縮反応に対するドコサヘキサエン酸 (DHA)、エイコサペンタエン酸 (EPA) の抑制効果
○徐可悦、清水美幸、村井千佳、藤澤美樹、欧光瀚、吉岡健人、小原圭将、田中芳夫 (東邦大・薬)
- PM-34 MEK阻害薬selumetinibが心房細動の持続性に与える影響～新規心房細動モデルラットを用いた検討～
○古宮健一郎、相本恵美、永澤悦伸、高原章 (東邦大・薬・薬物治療学)
- PM-35 肺高血圧症の発症初期における心房細動持続性に関する検討～モノクロタリン肺高血圧症モデルラットを用いて～
○倉茂美里、相本恵美、永澤悦伸、高原章 (東邦大・薬・薬物治療学)
- PM-36 In vitro情報とin vivo情報の統合による薬物相互作用マネジメントの妥当性評価
○保月静香¹、爲本雄太¹、柴田侑裕²、佐藤洋美¹、樋坂章博¹ (¹千葉大院・薬、²名市大院・薬)

Track 4

PM-37 ～ 55 : 17:30 – 18:30

- PM-37 初代培養アストロサイトの形態変化に対するエストロゲン誘導体の作用
○前田梨帆、赤石樹泰、山本昇平、阿部和穂 (武蔵野大・薬)
- PM-38 細胞間脂質モデルを用いた簡易的な皮膚刺激評価法の開発
○奈倉百香¹、後藤裕¹、寺山涼子²、井上元基¹、深水啓朗¹ (¹明治薬大、²ミロット)
- PM-39 コレステロールが角層細胞間脂質モデルの充填構造に与える影響
○寺山涼子^{1,2}、後藤裕²、深水啓朗² (¹株式会社ミロット、²明治薬大)
- PM-40 アミロイド線維の蛍光プローブであるコンゴレッドの生体高分子吸着における蛍光と分子状態
○古賀遼太郎、大塚裕太、後藤了 (東京理大薬)
- PM-41 凍結乾燥脂質ナノ粒子復水時の粒子凝集におよぼす核酸添加量の影響
○宮崎大樹¹、丸山保¹、宗像理紗¹、小俣大樹¹、吉岡靖雄^{2,3}、岡田欣晃³、小山正平^{4,5}、青枝大貴²、鈴木亮^{1,6} (¹帝京大薬、²阪大微研、³阪大院薬、⁴阪大院医、⁵国立がん研究セ、⁶帝京大先端総研)
- PM-42 分子シミュレーションによるssPalm脂質ナノ粒子の構造と相互作用解析
○小浪なおこ¹、西田瑠花¹、氏家かれん¹、佐々木香純¹、奥脇弘次²、望月祐志²、田中浩揮³、秋田英万³、古石誉之¹、福澤薫¹、米持悦生¹ (¹星薬大、²立教大・理、³千葉大院・薬)
- PM-43 ジソピラミド-テレフタル酸塩の結晶構造予測
○多田茜¹、内海洋平¹、岡本有史¹、奥脇弘次²、古石誉之¹、福澤薫¹、米持悦生¹ (¹星薬大、²立教大・理)
- PM-44 同種・同効薬におけるアスパルテーム含量の比較
○鈴木柚衣南、加藤千尋、高田裕奈、深水啓朗 (明治薬大)
- PM-45 メンケス病に対するCu-ATSM封入徐放性マイクロスフェアの調製
○浅香早希¹、藤村麻衣¹、北澤遙佳¹、伊藤清美²、高橋秀依³、深水啓朗¹ (¹明治薬大、²武蔵野大薬、³東理大薬)

- PM-46 **カルベジロール・エナラプリルマレイン酸塩からなる新規分子複合体形成の基礎的検討**
○藤田京子、寺井有里子、古石誉之、福澤薫、米持悦生（星薬大）
- PM-47 **コリン/リンゴ酸イオン液体に溶解したイヌリンの経鼻投与後の脳移行性ならびに製剤化に関する基礎的検討**
○福島啓太、鈴木直人、藤井美波、鈴木豊史（日本大・薬）
- PM-48 **がん治療に向けた抗体医薬品搭載ナノバブルの機能性評価**
○春田憲慎¹、矢野結友¹、濱野展人¹、吉川大和¹、高橋葉子¹、野水基義¹、鈴木亮²、丸山一雄²、根岸洋一¹（¹東京薬科大学 薬学部、²帝京大学 薬学部）
- PM-49 **計算化学的手法によるニフェジピン、インドメタシンとPVPとの固体分散体の吸湿安定性の研究**
○松本穂香¹、佐藤佑悟¹、川嶋裕介¹、奥脇弘次²、古石誉之¹、福澤薫¹、米持悦生¹（¹星薬大、²立教大・理）
- PM-50 **各種ジェネリック製剤におけるアスパルテーム含量の比較**
○岡本奈子、加藤千尋、高田裕奈、深水啓朗（明治薬大）
- PM-51 **甘草由来ナノ粒子の新規ワクチンアジュバントとしての可能性評価**
○山本奈央¹、鈴木悠乃¹、宗像理紗¹、小俣大樹¹、小泉桂一²、鈴木亮^{1,3}（¹帝京大薬、²富山大和漢研、³帝京大先端総研）
- PM-52 **IL-6の正電荷リポソームが有する粘膜アジュバント活性に対する寄与**
○多田壘¹、日高晃¹、棚澤佑哉¹、近江珠怜¹、小笠原樹¹、斎藤桃子¹、大島亮洋¹、清野宏²、國澤純³、根岸洋一¹（¹東薬大・薬、²東大・医科研、³医薬健康栄研）
- PM-53 **pDNA搭載多糖類コーティングナノバブル開発に向けた基礎的検討**
○山口泰暉、高橋葉子、畠中祐希、濱野展人、根岸洋一（東京薬大・薬）
- PM-54 **脳への薬物送達に向けた集束超音波照射条件の検討**
○垣内彩実¹、小俣大樹¹、宗像理紗¹、萩原芙美子¹、鈴木悠乃¹、丸山保¹、梅村晋一郎²、吉澤晋²、丸山一雄^{1,3}、鈴木亮^{1,3}（¹帝京大薬、²東北大院工、³帝京大先端総研）
- PM-55 **新規経皮投与システムを用いたリダイフェン類縁体の経皮投与後の体内動態に関する検討**
○市川穂¹、坂本祐輔¹、前田絢子¹、酒井杏樹²、米岡雨音²、土谷香穂²、村田貴嗣²、坂本一民³、酒井健一³、酒井秀樹³、小林正樹¹、樋上賀一¹、長原礼宗⁴、椎名勇²、真野泰成¹（¹東京理大薬、²東京理大理、³東京理大理工、⁴東京電大理工）